

2024年度 大分こども病院 病院勤務医負担軽減計画

負担軽減項目	取組項目	取組目標	取組条件	新規区分	達成状況	全体の状況	計画内容		備考
							令和5年度	令和6年度	
医師・看護師等の業務分担	医師と看護師間の業務分担の見直し	救急トリアージをおこない、医師が緊急性を把握し易くする。	必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	
		診察がスムーズにおこなえるよう、介助を必ず付ける。	必須	既設	未達成	推進中	診療科目を整備し、パート看護師を採用する。	ナースエイドを採用する	
		検査室において、医師がおこなっている検体採取（鼻腔・咽頭拭い）を看護師が実施する。	必須	既設	部分達成	推進中	新型コロナ、インフル、RSのみ実施	対象を増やす	
		養育相談などは看護師が対応する	必須	新設	-	推進中	-	ナースエイドを配置し、看護師の負担を減らす	
	医師と他職種間の業務分担の見直し	検査室において、耳朶採血は臨床検査技師が実施する。	必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	
		医師の要請に応じ、検査の説明等（検査結果を除く）をおこなっている。	必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	脳波検査など可能な検査については実施
		疾患別のクリニカルパスを作成し、計画作成の短縮を図る。	必須	既設	未達成	推進中	診療データに基づいたクリニカルパスを作成する	医師事務補助が介入する	
		放射線検査等に関する説明・相談について、必要に応じて診療放射線技師が実施する。	必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	
		管理栄養士との協働体制をもって、管理栄養士が特別食の内容、形態を医師に提案する。	必須	既設	達成	推進中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	
		医師の指示に基づき、管理栄養士が主となって栄養指導を実施する体制を構築する。	必須	既設	部分達成	推進中	栄養管理室の業務分担を行ない積極的に指導が行える体制をつくる。	栄養管理室の業務分担を行ない積極的に指導が行える体制をつくる。	
		夜間・休日帯の調剤業務の負担を軽減する。	必須	既設	未達成	推進中	薬剤師2名体制を確保する	薬剤師2名体制を確保する	調剤事務も検討する
	患者さんの呼び込みを医師以外がする	必須	新設	-	推進中	-	看護師・医師事務補助・ナースエイドがおこなう	調剤事務も検討する	
	医師間同士の業務分担の見直し	ベテラン医師のコンサルテーションを受け易くする。	必須	新設	-	推進中	-	小児科医を増員する	
	医師に対する医療作業補助体制	医師事務作業補助者の配置	時間内診察時に代行入力し、診察時間の短縮を図る。	任意	既設	部分達成	推進中	業務分担をおこない代行業務に充てられる時間を確保する	医師事務作業補助者を増員
日勤帯の全ての医師に入院オーダーの補助をおこなう。			必須	既設	部分達成	推進中	全ての医師に対し行なう。	入院オーダーのテンプレートを作成	医師事務作業補助者を増員
全ての医師に対して退院サマリー作成補助をおこなう。			任意	既設	達成	実施中	全ての医師に対し行なう。	現状の継続または必要に応じた見直し	
紹介元に対する返書および逆紹介状の作成補助をおこなう。			必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	
診断書、主治医意見書、生活保護における医療要否意見書の作成補助をおこなう。			必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	
医師の勤務体制	交替勤務制の導入	24時間体制をおこなっている小児科を主として3交替制勤務を導入する。	必須	既設	部分達成	推進中	3交替制勤務が可能な体制をつくるため、外来診療時間を見直す	小児科医を増員する	月所定労働時間は160時間または168時間
	短時間正規雇用の医師を活用	育児等における短時間勤務医師の雇用を継続する。	必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	
	当直翌日の勤務	当直翌日は1日休暇を取得する。連続当直はおこなわない。	必須	既設	部分達成	推進中	連続当直は無いが、当直翌日については病棟医に限り正午まで勤務がおこなわれている。改善を図る。	小児科医を増員する	
その他	警備体制の整備	夜間等、患者対応におけるトラブルに対して、医師が全面的に対応しなくても良いように警備員を配置し、問題があった場合は対応をおこなう。	必須	既設	達成	実施中	どの時間帯でも対応できるように、全職員向けの対策マニュアルを作成する。	現状の継続または必要に応じた見直し	
	問診の電子化	WEB問診システムを導入し、診療の効率化・電子化を推進するとともに、業務負担軽減を図る。	必須	既設	達成	推進中	患者さんにWEB問診の利用を促す	現状の継続または必要に応じた見直し	
	要望の把握	年に1回以上は医師全員にヒアリングをおこない、優先度の高いものから対策を講じる。	必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	
	取組の周知	病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する委員会の規則・勤務医負担軽減計画および議事録を職員に配布する。	必須	既設	達成	実施中	現状の継続または必要に応じた見直し	現状の継続または必要に応じた見直し	

大分こども病院 病院勤務医負担軽減計画

(1)医師の勤務状況等

項目	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
許可病床数	40	40(休床10床)	40(休床10床)	40(休床10床)
特定機能病院の適用	なし	なし	なし	なし
常勤医師数 (人)	15	13	12	12
短時間正規雇用医師数 (人)	4	3	3	3
勤務時間 医師1人あたり月平均 (時間)	165.8	162.53	166.41	166.46
超過勤務時間 医師1人あたり月平均 (時間)	3:36	12:43	5:00	9:07
当直回数 医師1人当たり月平均(回)	1.93	2.3	2.5	2.44
最大 (回)	6	5	7	7
最少 (回)	0	0	0	0

目標

当院では、医師の事務作業軽減のため、平成22年度から医師事務作業補助者を配置し取り組んできた。

同年「病院勤務医の負担の軽減および処遇の改善に関する委員会」が発足し、多職種の委員で構成されている。委員会は毎月1回おこなわれている。

また、施策では看護師・コメディカル等との業務分担制を推進するほか、医師の身体的負担軽減として当直明けの休暇取得の促進、医療業務全般に係る業務の効率化および負担軽減を図るため電子カルテシステムの導入、業務分担の推進および医師の事務作業負担軽減として医師事務作業補助者を3名まで増員した。さらにもう一名増員し業務の拡大を図り医師の負担軽減につなげたい。

今後は、これまでの取組項目の継続とともに、看護師等のマンパワーを主軸科目に集中し医師の診療に係る負担を軽減を図り、勤務体制では3交替勤務制の導入を目指す。健全経営と医師業務負担軽減の両立を見据えた業務体制の構築を図る。